

在日中国人は将来 中日交流で活躍する人材

約三年前に、筆者は大学院に籍を置きながら、研究論文のために集めたデータを単行本「在日中国人大全」にした。湖に投げ込まれた小さな石のように、この本は日

本および中国に大きな波紋を呼び起こした。日本の報道機関が、この本の資料に基づいて在日中国人の活躍を大きく取り上げた。自分の研究と努力が評価されたようで、とても嬉しかった。

そして翌年の四月に、編集、レイアウト、表紙デザインなどすべて

地球村の文化 鳥にならって 自由に飛びたい

日本僑報社編集長
段 躍中



Guest Essay

いことが多いと言われているが、日本人には、まず目の前にいる、隣に住んでいる中国人のことを知ってほしい。もちろん、ごく一部の中国人の犯罪ばかり注目するのではなく、在日中国人の主流すなわち日中交流と日本の国際化に貢献している多くの人々を注目してもらいたい。

祖国の文化、同胞の活躍、 住む国の文化を世界に発信

筆者も日中関係研究者として、両国人民のお互いの理解を深めることを心から期待し、微力ながら頑張っている。日中両国に有益な情報を提供し、二一世紀の日中交流に資することを旨とし、日本の国際化における言論の自由の環境を生かして、筆者は在日中国人による初めての出版社を設立した。「在日中国人大全」のほか「中国人特派員が書いた日本」「中国人の日本奮闘記」「中国人の見た日本」「中国人の日本語著書総覧」「華僑社会の変貌とその将来」「私

が出会った日本兵」「日本語表現の研究」——など一八点の本を発行した。

二〇〇〇年三月に学会発表のため、筆者は初めてアメリカの土を踏んだ。ロサンゼルスでの現地調査、オハイオ大学での世界数十カ国の研究者との交流は大変勉強になり、多くの情報を得て日本に持って帰った。学会発表のために出版した「在日中国人媒体総覧」を多くの研究者に配り、在日中国人メディアと日本の国際化の最新情報を世界に向けて発信できた。

五月に、筆者が本誌に書いた「知的貢献の大きい在日中国人社会」についての記事は、思いがけないことに、中国国営通信社の新華社が発行する「参考消息」に中国語訳で掲載された。北京にいる友人から送られた新聞を見て、自分のささやかな発信は日中両国の交流に役に立っているように感じて、とても幸せであると思った。

この二年来、筆者が執筆や編集した本で中国関係書店のベストセ

て筆者一人で担当した新しい「在日中国人大全」が発行された。六年間をかけて収集した情報が、約一〇〇〇ページB5版のデータブックになったのは感無量である。多くの方々の支持を得て、二〇〇〇人が参加した出版パーティーも東京で開催し、朝日新聞、読売新聞をはじめ、日本のすべての全国紙が筆者個人とこの本を取り上げてくれた。報道記事を読みながら、編集作業中、二回も病院に運ばれたことを思い出して、この本の重みを改めて味わった。

確かに、ある学者が指摘した通り、在日中国人の業績を記録し、歴史に残すことは、筆者の最も素朴な考えだった。一九九一年以来日したときから、同胞たちの日本での奮闘ぶりに感心し、新聞記者の経験がある筆者は、職業上の習慣から、日本語勉強の方法の一つとして、毎日少しずつ同胞たちの成果を電子手帳に入力していた。

日本滞在期間を延長し、中国人の日本留学の歴史や日中関係に関

する研究を深めていくと、もっと高次元の問題意識を考えるようになった。現在、日本にいる中国人は、何十年か後に中日交流の第一線で活躍する人物ではないかという期待を持った。今世紀初頭に日本で学んだ中国人の中で、帰国後に祖国の指導者や各分野の第一人者になった人は数え切れない。ごく普通の留学生から祖国の実力者に成長し、中国の対日関係を左右する力になった人もいる。

筆者が彼らの活躍を紹介することは、決して在日中国人のためだけではない。最も重要なのは、中国と日本の素晴らしい二一世紀のためである。このような視点を持つて、在日中国人社会の主流に注目し、特に優秀な人材と彼らの優れた業績を追っている。彼らを大事にして、日中友好の予備軍として育てることは、現実から言っても、歴史から見ても、日本の国益になるはず、中国に対する本当の友好と貢献である。

中国と日本は、お互いに知らない



首相官邸に森首相(右)を表敬訪問する中国人留学生

けて発信していることは、まさに行ったり来たりして自由に飛んでいる文化の鳥である。

ある日本人が筆者の「地球の文化鳥」という表現に共感し、メッセージを送ってくれた。まさに筆者の人生目標であり、読者に紹介してともに頑張っていきたい。

小さな身体で、愛らしいしぐさで精一杯羽ばたいてけなげにメッセンジャー役を果たす、それは地球村の文化鳥。

国と地域の間を飛び回り、種を運んで文化を新しい土地に根付かせ、花粉を移して異なる文化を融合させ、人々を道の世界へ導く文化の伝道者、それは地球の文化鳥。

ラーになったものは四冊あり、日本以外の世界十数カ国の大手図書館からの注文を受けた。特に日本と日本人、日本文化の素顔を紹介した中国語エッセー集の「留学扶桑」と「当代中国人看日本」は、内山書店と東方書店の中国語原書ベストセラー第一位に選ばれた。

このような活動を通して、我々のように海外で暮らす者は、皆、地球村の「文化鳥」ではないかと思いついた。祖国の文化、同胞たちの活躍、そして住んでいる国の文化を随時に両国および世界に向

一九五八年中国・湖南省生まれ。

九一年に来日。新潟大学大学院

博士課程修了。現在、在日中国

人文献資料センター代表、北京

大学日本研究センター客員助教

授。千葉商科大学などの非常勤

講師を務める。主な著書に「留

学扶桑」など。